## 平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

## 「タケオ州オンロカレファラル病院機材整備計画」 贈呈式典開催

平成28年5月27日(金)、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件(供与限度額:65,215米ドル)により供与された機材の贈呈式典が、タケオ州オンロカレファラル病院で開催されました。右式典には、タケオ州保健局からヘム・サレット局長、日本国大使館から與那嶺書記官が出席して祝辞を述べるとともに、その他地域内の医療従事者及び住民約60人が参列しました。

本案件は超音波診断機と自動血球計算装置を更新することより、検査・診察に必要な情報をより正確に得ることが可能になり、また非常用発電機を整備することにより、頻繁に起こる停電に備えた医療体制を整備することを目的として、2016年3月に贈与契約が結ばれ、この度贈呈式典の運びとなりました。

ペム・サレット局長がスピーチを行い、「この度の支援について、日本政府及び日本国民に 感謝を申し上げる。供与頂いた機材は、オンロカレファラル病院の医療の質を向上させ、特に 正確な診断や迅速な治療を可能にするだろう。本案件の成功は病院、保健行政区、地元自治体、 州保健局、日本国外務省の緊密な連携に大きく起因するものである。」と述べました。続いて 與那嶺書記官がスピーチを行い、「タケオ州は日本が国連 PKO に初めて派遣した自衛隊部隊が UNTAC の下で平和維持活動を行った地である。それ以来、日本政府は多岐にわたる分野におい てカンボジアの復興と開発への支援を継続的に行ってきた。本案件で供与した機材により、よ り良い医療サービスの提供が可能になるとともに、供与した機材がカンボジアと日本の友好関 係のシンボルとして長きにわたって適切に維持管理され、有効に活用されることを願う。」と 述べました。その後、供与機材の確認を兼ねた院内見学が行われ、式典は無事終了しました。



▲式典の様子



▲式典の様子



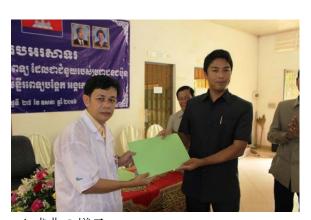
ム・サレット局長によるスピーチ



▲與那嶺書記官によるスピーチ



▲式典の様子



▲式典の様子



▲供与機材(超音波診断装置)



▲供与機材(自動血球計算装置)



▲供与機材(発電機)



▲集合写真